

## 事務事業評価シート(平成26年度実績分)

### (1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名	
74122	行財政改革推進事務	まちづくり政策課	行財政改革係	山田 勝己	赤羽 裕治	
		一次評価年月日	平成 27 年 6 月 12 日	連絡先〔内線〕	2209	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0207	企画事務	
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ		章 (コード選択)	7章	効果的・効率的な行財政運営のまちづくり	
			節 (コード選択)	4節	効率的な行財政運営	
			項〔基本施策〕 (コード選択)	1項	効率的な行財政運営	
			目〔主な施策〕 (コード選択)	2目	行政の効率化	
	関連する計画等への位置づけ		<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他
事務期間	(開始) 23 年度 ~ (終了予定) 27 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし			

### (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

・町職員  
・第五次行財政改革大綱に示した施策  
・町民

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

職員の意識改革を促し、効率的で効果的な行政運営に努め、行政活動の透明性と住民への説明責任を果たす

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

- 「第五次行財政改革大綱推進プログラム」の進捗状況調査の実施と進行管理
- 行財政改革推進本部会・調整会議の開催
- 行財政改革推進委員会の開催(委員会による進捗状況チェック)
- 「第五次行財政改革大綱推進プログラム」の進捗状況の公表

### (3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		25年度	26年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)	
①	指標名	第五次行財政改革大綱推進プログラムの進捗管理項目数		79	79	79	1.00	79
	説明	進捗管理を行う項目数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 推進プログラム項目数				
②	指標名							0
	説明			算出方法・計算式・目標値設定の考え方等				

### (4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		25年度	26年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)	
①	指標名	第五次行財政改革大綱推進プログラムの進捗管理実施項目数		79	79	79	1.00	79
	説明	進捗管理を実施した項目数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 進捗管理を実施したプログラムの項目数				
②	指標名	進捗管理の結果A判定の項目数		44	47	79	0.59	79
	説明	所期の目的をほぼ達成した(80~100%)項目数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 所期の目的をほぼ達成した(A判定:80~100%)項目数				

### (5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

項目	単位	平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度										
		決		算		決		算		決		算		見		込み								
○総事業費(コスト概算)	(千円)	6,526		6,602		6,108		4,742																
対前年比	%	/		101.2		92.5		77.6																
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)	(千円)	0		0		0		0																
B) 一般財源(税金)	(千円)	6,526		6,602		6,108		4,742																
①事業費	(千円)	30		27		24		210																
対前年比	%	/		90		88.9		87.5																
②人件費の概算	(千円)	6,496		6,575		6,084		4,532																
対前年比	%	/		101.2		92.5		74.5																
		年間人件費		年間人件費		年間人件費		年間人件費																
		/		/		/		/																
町職員(正規職員)		0.04	0.04	0.04	0.08	0.08	0.08	0.61	0.61	0.00	0.08	0.00	0.62	0.82	0.74	0.74	6,496		6,575		6,084		4,532	
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)												0		0		0		0				

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 行政改革推進委員会に諮り意見聴取
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 事務事業評価
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性はありますか	A	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 行政改革推進委員会の委員公募による住民参加

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する    
  イ. 見直しのうえで継続する    
  ウ. 終期設定    
  エ. 廃止    
  オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。)	27年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
これまでの検証結果等を踏まえ、第六次行財政改革大綱及び推進プログラムの策定をする	[反映内容] 行財政改革推進委員会 委員報酬の増額

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
達成率の低い評価の推進項目が固定化されてきている。第六次の大綱策定に向け分析し、大綱への反映を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持    
  イ. 見直しのうえで継続する    
  ウ. 終期設定    
  エ. 廃止    
  オ. 休止

➡  b 上記 a~e を選択